

教科	地歴	科目	日本史B			単位数	3
学科	普通科	履修学年	3	コース	文系	必修・選択	必修
教科書	『詳説日本史B』(山川出版)						
副教材等	『図説 日本史通覧』(帝国書院)						

学習目標		我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。					
指導の重点		歴史を学ぶことは、過去の問題にとどまらず、現在及び未来の課題を考える上で不可欠のものであることを理解させる。 センター試験・国公立二次入試・私立大入試に対応できる力を身につけるため、問題演習等も必要に応じて実施する。					
学 習 計 画	学期 (時数)	学習項目	学習内容(学習活動)			評価方法	
	1学期 (30)	第4編 第1章 明治維新と立憲体制の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・開国とその影響、明治政府による諸制度の改革、文明開化と殖産興業、明治初期の外交などに着目して、欧米文化の影響と近代化の推進を理解させる。 ・自由民権運動の展開と立憲体制の成立を国際環境の影響とともに理解する。 ・立憲国家の成立と展開を、国際関係の変化とともに理解する。 			定期考査 課題提出	
		第2章 国際関係の推移と立憲国家の展開					
	2学期 (36)	第5編 第1章 第一次世界大戦と日本	第一次世界大戦における日本の動きを世界情勢と関連づけて理解する。			定期考査 課題提出	
第2章 第二次世界大戦と日本		第二次世界大戦における日本の動きを世界情勢と関連づけて理解する。					
第6編 第1章 戦後日本の動向と国民生活		第二次世界大戦後の占領政策・平和憲法の成立・独立など日本の再出発を、世界情勢の推移とともに理解する。					
第2章 東西冷戦と日本の動向		世界の中の日本の立場と役割を現代世界の動向と日本の課題を考察しつつ、理解する。					

	3 学期 (30)	[特別編成授業] (1) 1・2 学期で学んだ学習内容の復習と発展学習 (2) センター試験や各自の進路に応じた個別学習	1・2 学期の総合 評価	
計 96 時間 (55 分授業)				
評価規準と 評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できる。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現できる。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解することができる。
	[評価方法] 以上の観点をふまえ、 授業への取り組み（授業態度・学習活動への参加状況など）、課題の提出状況、定期考査などから、総合的に評価する。			
学習の ポイント	日本史 B は些末な一問一答型の知識を単に暗記する教科ではない。センター試験や国公立の 2 次試験の受験科目で日本史 B を選択するならば、歴史的事象の因果関係を知り、時代を総括する解釈力が必要となる。それは、単なる記述的知識の暗記で身につくものではない。日々の授業を軸にして、自分で問題演習をすすんで行う必要がある。授業こそが主軸であることを忘れず、集中して授業に取り組んでほしい。			